

# ちやんと かわら版 恵庭



**Where is this?**  
**大学キャンパスでトレジャーハント!**

恵庭市教育委員会が主催する「イングリッシュキャンパス」がさきごろ、市内黄金中央の北海道文教大学で開催されました。この催しは、同大生、恵庭市のALT(外国語指導助手)などと共に英語に親しむイベントで、市内の小学3年〜6

年生の児童32人が参加しました。冒頭、恵庭市教育委員会教育部の橋場誠次部長は「文教大学さんの多大なご協力で開催できたことに感謝いたします。小学校における英語教育は来年度から3、4年生も参加することになりま

した。今日は楽しく英語を学んでください」と子どもたちに呼びかけました。イベントは、大学構内に設けられたポイント配られた写真をヒントに探し出す「トレジャーハント」からスタート。ガイド役の学生と話す時は全て英語であることが条件。子どもたちは写真を指差して「Where is this? (これはどこですか?)」と尋ねると、「All right Let's g

o!(わかったよ、よし行こう)」と学生が返答。次々に目的地を見つけ、配られた用紙に表示された数字を書き込んでいました。和光小5年の蝦名香奈さんは「大学って広いんですね。すっごく楽しい」とニコリ。母親の若菜さんは「本人の希望で参加しました。楽しく英語に親しめる良いイベントだと思えます」と話していました。その後行われた映画鑑賞では「フラインディング・ニモ」が上映され、日常会話での英語の使い方や発音を学びました。(編集部 伊藤)



## オリジナルランタン作りに挑戦

まちスポ恵み野 みんなのガーデンプロジェクト 2017

「ふうせんランタンをつくらう!」が1月15日、フレスポ恵み野内のまちづくりスポット恵み野で行われ、市内の主婦や親子連れを中心に約20人が参加しました。この催しは、まちづくりスポット恵み野が主催する「みんなのガーデン



ンプロジェクト2017」の一環。フレスポ恵み野の花壇の手入れや、押し花作り、アイスキャンドル作りなどを体験する市民参加型のプログラムです。ふうせんランタンは、アイス風船を、約85℃に熱して液体になったロウに2秒間浸けて引き上げ、3秒間空気に触れさせることを8回ほど繰り返してロウの厚みをつけていきます。その後、好みの押し花やシールなどを貼り付けて、再度ロウに2回くらい浸けます。最後にゴム風船を割って水を出

し、カッターナイフで形を整えて完成です。母親の菊地千香子さんと参加した瑚陽(こはる)さん(若草小2年)は「風船が重くて持っているのが大変でした。灯りをつけて、自分の部屋に飾りたい」と笑顔で話していました。(編集部 伊藤)



## 老人ホームで握り寿司

職人さんが出張サービス

恵庭市黄金中央の住宅型有料老人ホーム「シニアハウス黄金」では1月9日、高齢者に寿司を提供する「出張握り寿司」が行われました。同施設の入所者7人と、系列事業所のラ・デュース桜町デイサービスセンターの利用者5人が、職人による握りたての寿司に舌鼓を打ちました。この催しは、入所者に食事のアンケートを実施したところ、寿司の希望が多かったことから実現。外出では気兼ねすることも多くあり、普段生活している施設での食事を望む声が多かったことから、市内で回転寿司店を営んでいる会社のサービスを利用して行われました。用意された寿司ネタは、イクラやエビ、ホタテ、サーモンなど10種類のほか、巻き寿司や、ま

るで回転寿司の店内のように。寿司職人の上田陽正さんは「高齢者向けということで、シャリを少なめにしたり、柔らかく握るなどの工夫をしています。歯の悪い方のためにネタをミンチ状にして握ることもあります」と話していました。田中明彦さん(73歳)は「寿司屋に行くことやっばり気をつかうから、ここで食べられるのがいいね」と満足した様子でした。

昨年10月にオープンしたシニアハウス黄金は、「生きがいや地域とのつながり」を目的とした仕事を入所者に紹介するなど、従来の有料老人ホームとは異なる取組みを行っています。栗林和弘施設長は「これからも入所者の声を聞き、喜ばれる行事を行っていききたい」と話していました。(編集部 伊藤)

